

テーマ別調べ方ガイド



第二言語習得

について調べる



目次

1. イントロダクション
2. 学習用資料
3. レポート・論文作成用資料

「Paste (ぱすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ティーチング・アシスタント (TA) による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

1-1. 「第二言語習得」とは？

第二言語習得(だいにげんごしゅうとく)は、学習者が母語の次に言語を学ぶ過程を科学的に解明する学問で、心理学、言語学、教育学などの学際領域である。広義には教授法も含まれる。

2. 学習用資料

2-1. 手元にあると便利な事典・ハンドブック 類

■ [応用言語学事典 / 小池生夫編集主幹](#) 【書誌 ID=2003560891】

外国語教育学とその関連諸科学(言語習得、社会言語学、語用論、心理言語学、コーパス言語学、日本語教育など)を、基本用語から最新の理論まで網羅。海外の理論の輸入・紹介だけでなく、日本人の研究の知見や日本語に関する研究成果をできるだけ取り入れています。

2-2. 最初に読むべき資料：教科書・古典

■ [文献からみる第二言語習得研究 / JACET SLA 研究会編著](#) 【書誌 ID= 2003715530】

第二言語習得の研究についての基本的かつ最近の動向を示す文献を集めて解説。外国語としての英語(EFL)教育、特に日本人英語学習者を対象とした研究を中心に紹介。細分化した研究領域が総合的に理解できる。

■ [言語教育学入門：応用言語学を言語教育に活かす / 山内進編著](#) 【書誌 ID= 2003590476】

応用言語学は、1940 年台のアメリカで始まり、言語学を言語教育に応用するものであったが、1970年代には、言語と人間に関わるテーマを幅広く扱う学際的な学問に発展し、その成果は言語教育に活用されている。本書は、その最新成果を解説し、巻末に『応用言語学・言語教育学小事典』を付す。

■ [入門語用論研究：理論と応用 / 小泉保編](#) 【書誌 ID= 2003509487】

本書は語用論の実用性を重視し、ジョークやレトリックなどの分野への適用をはかるとともに、文学や認知言語学、言語学習や語法研究との関連についても論述する。

■ [応用社会言語学を学ぶ人のために / ダニエル・ロング, 中井精一, 宮治弘明編](#)

【書誌 ID= 2003434938】

日本の社会言語学はこれまで日本語教育にどのように関わってきたのか、また今後どのように応用されるべきか。社会言語学の最新の研究成果を平易かつコンパクトにまとめた、日本語教育に携わる人々のための格好のテキスト。

2-3. 最新情報が確認できる資料：主要雑誌・年鑑・Web ページ

- [Second Language: 日本第二言語習得学会学会誌 \(http://www.j-sla.org/\)](http://www.j-sla.org/)
日本第二言語習得学会の学会誌です。
- [第二言語としての日本語の習得研究 = Acquisition of Japanese as a second language / 第二言語習得研究会 \[編集\] 【書誌 ID= 32104072】](#)
日本語の習得研究に関する雑誌です。

2-4. その他専門書・学術論文等で注目すべきもの

- [MURPHY Robert S, POST Michael D, 第二言語学習者のメンタルレキシコンにおける語彙関係への語連想反応によるアプローチ：マッカーシー理論の日本人学習者への適用に基づく教育的意義, 産業医科大学雑誌, 2009, 31\(2\), pp.143-166. \(http://ci.nii.ac.jp/naid/110007226377\)](#)
- [藤森千尋, 第二言語習得におけるスピーチプロダクションの複雑さに関する展望, 東京大学大学院教育学研究科紀要, 2009, 48, pp.407-414. \(http://ci.nii.ac.jp/naid/120001665957\)](#)
- [橋本亜沙美, 第二言語習得における語彙習得の研究, 東京女子大学言語文化研究, 2007, 16, pp.18-32. \(http://ci.nii.ac.jp/naid/110007172899\)](#)

2-5. 有用なナビゲートツール：ブックガイド・リンク集

- [第二言語習得に関する雑誌リスト](#)
(<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/yamashita/graduates/SLAjournals05.htm>)
名古屋大学山下淳子先生が作成したものです。

3. レポート・論文執筆用資料

3-1. 有用な検索キーワード

- ◆ 主要キーワード：第二言語習得／Second language acquisition／SLA
- ◆ 関連キーワード：言語獲得／言語学／教育学／教授法／理論言語学／認知言語学／社会言語学／心理言語学／対照言語学／比較言語学／応用言語学
- ◆ 補助キーワード：母語／転移／第一言語／第二言語

3-2. 二次資料類：検索サイト・書誌索引

- [Webcat Plus \(http://webcatplus.nii.ac.jp/\)](http://webcatplus.nii.ac.jp/)
日本の大学図書館等が所蔵している資料を連想検索で検索することができます。

■ [CiNii \(http://ci.nii.ac.jp/\)](http://ci.nii.ac.jp/)

日本の学会誌・紀要等に発表された論文を検索することができます。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。



MEMO